

【⑦ミャンマーインターンシップ研修】研修体験報告書（1）

研修時の 本学の所属・学年・性別	中等教育教員養成課程 技術専攻 2年 男性
研修期間	2019年3月8日～2019年3月20日
研修先の国、研修先・訪問先	国：ミャンマー 研修先・訪問先：カエイインターナショナルスクール
研修参加目的・動機など	たまたま、部活動の先輩から「海外研修に興味がないか？」と話をいただき怪我で部活動をやめてやることもなく、海外に興味があったので勢いだけで参加した。また、海外へ研修で行く機会は滅多にないため、日本以外の文化を知りたいといった知的好奇心もあり参加を希望しました。
研修参加を考え始めた時期	大学2年生の秋
求められた語学力 及び具体的な準備内容	(求められた語学力) 日常会話レベルの英語ができると全く困らない (準備内容) 実際に行く前の研修で文化や教育、簡単なあいさつなどについて調べた。
情報収集方法	事前研修での発表会、インターネット
居住環境	ユニットバス
研修先に持参した方がよいもの	半袖、半ズボン、虫よけスプレー、タオル
物価（食費、住居費等 日本の物価と比較して）	日本より安い、
研修の必要総額 (渡航費、生活費を含む)	総額 約13万円 (内訳) フライト料金約7万円 研修費用6万円（その他雑費含む）
治安状況	比較的安全だが、念のため二人以上での行動がベスト

その他注意すべき事項	特になし
------------	------

留学・短期研修等体験レポート（自由記述）

このミャンマーインターンシップ研修に参加して、身についたことは自信と探求心の二点です。

まず、自信についてです。この研修に参加する前までは、自分の中で海外はTVなどでよく見ることもあり、身近にはあるが現実感のない曖昧なものでした。それが、実際に現地へ足を運んでみて自分の五感でその土地に触れてみるだけでも、ものすごくよい経験になったと感じました。さらに、拙い英語ですが、現地で会う人たちと会話してみると日本にいただけでは知ることができなかつたような考え方もあり、とても多くの経験を得ることができました。この多くの経験を得たことで、視野が広がり、心に余裕ができ、自信にも繋がっていると感じています。

次に探求心についてです。日本で約20年間生きてきたが、海外に行くとこの20年間で、ほんのちっぽけなものなのだと身に染みるほど、知らないことがたくさんあり、実際に行ってみて、感じて、知ることがいかに大切なのか実感しました。海外では当たり前だが、日本語は通じないため共通語である英語で会話をしなければならないといった、当たり前のことでさえ日本にいと実感することが難しい。さらに、海外の文化や生活様式もまったくの別世界で、自分が知らなかつた世界を知ることが、とても楽しいことだと気付くきっかけになりました。この研修に参加してからというもの、知りたいと思ったことを一目散に調べるだけでなく、実際に自分の目で確かめるといったことを積極的に行うようになりました。

教員になる上で、この研修は大いに役に立ったと感じています。なぜなら、まずこの経験が面接のときにとっても役に立つからです。海外へ旅行をしたことがある人は多いと思いますが、海外で研修経験のある人はあまり多くないようで、教員採用試験の面接では必ずと言っていいほど、この海外研修のことについて質問されます。この時、「参加動機」や「何を学んだのか」ということを聞かれますが、この研修を通して得た自信のおかげで、なにも心配することなく質問にも答えることができました。さらに、海外での研修経験があるということは、大きな武器にもなるので、教員採用試験の際には、自分のなかで一つ安心材料となり余裕も生まれました。また、海外での経験は学校の生徒にとっても新鮮で、話すととても興味を持ってくれます。もし興味があるならば参加してみることをおすすめします。